

東亜合成グループ 価値創造の軌跡

当社グループは社会がめまぐるしく変化する中で、必要とされる価値を化学の力で創造してきました。時代のニーズに合わせた製品を提供することで、確固たる技術力と製品への信頼を培っています。これらを価値創造の基盤として、これからも社会の期待に応える新製品・新技術を開発し、企業価値の向上に努めていきます。

1910年～

第1期

1960年～

第2期

1970年～

第3期

第4期

基礎化学製品 発展期

産業の基礎素材となる電解製品や食糧増産のための肥料が化学工業の主流を占める中、基礎化学製品を主力に事業を展開しました。



名古屋工場（当時）

石油化学製品 発展期

電解製品に加え、アクリル酸エステル、塩化ビニル樹脂、塩素系有機溶剤など、石油化学製品の事業展開を進めました。



徳島工場（当時）

機能製品 発展期

石油危機による大量生産品の不振などの難局を乗り越え、景気変動に左右されにくい企業体質をつくり出すべく、独自の技術を活かした機能製品を主力製品として育成しました。



先端科学研究所

ESG／SDGsの時代に ふさわしい第4の柱となる 製品群の開発



川崎フロンティアエンスR&Dセンター

価値創造
POINT

戦後復興の基礎となる製品の供給
基礎化学製品の安定供給

主力製品

カセイソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ



電解工場



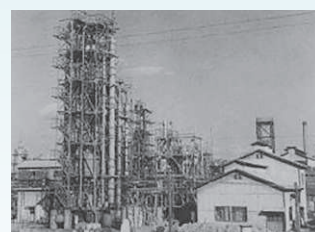
カセイソーダの船出荷（当時）

価値創造
POINT

高度成長期に合わせた原材料の供給
汎用石油化学製品の生産開始

主力製品

アクリル酸メチルエステル、アクリル酸エチルエステル



アクリル酸メチルエステル製造設備（当時）



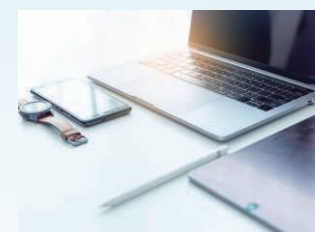
アクリル酸製造設備

価値創造
POINT

汎用製品から高機能製品への進出
アメリカを皮切りに海外進出

主力製品

アクリルポリマー、アロニックス、アロンアルファ、無機抗菌剤



光硬化型樹脂「アロニックス」



瞬間接着剤「アロンアルファ」

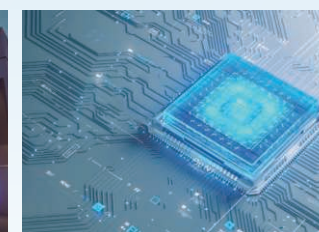
価値創造
POINT

高付加価値製品事業の拡大
新ビジネスユニットの創出

主力製品

モビリティ関連製品、半導体・電子材料関連製品、
メディカル関連製品、セルロースナノファイバー

リチウムイオン電池用バインダー



半導体製造用薬剤